

学校評価アンケートのご協力ありがとうございました

3月になりやっと暖かい日が続き、春の訪れを感じる頃となりました。日頃は本校の教育推進に温かいご支援・ご協力を頂き、誠にありがとうございます。

さて、2月6日を締め切りとし、保護者の皆様に後期学校評価のアンケートを実施させて頂きました。後期の学校の取組を通じ、児童の様子からどのような変容が見られたかなどをお尋ねしました。お忙しい中、ご協力いただき、ありがとうございました。

「児童に身につけてほしい資質・能力」についてのアンケートを中心に置き、保護者の皆様へのアンケート項目も、教職員の自己評価項目も、全て児童アンケートに関連する項目にしました。

以下に示すグラフは

- ① 児童アンケート…児童自身がそのことをできていると思っているか。
- ② 教職員自己評価…教職員は、児童ができるようになるための支援・指導ができたと考えているか。
- ③ 保護者学校評価…保護者は、児童ができるように（身につけられるように）学校は支援・指導をしていると思われているか。

を表しています。グラフ内の4項目は時計回りに

児童は

よくできている
大体できている
あまりできていない
できていない

教職員は

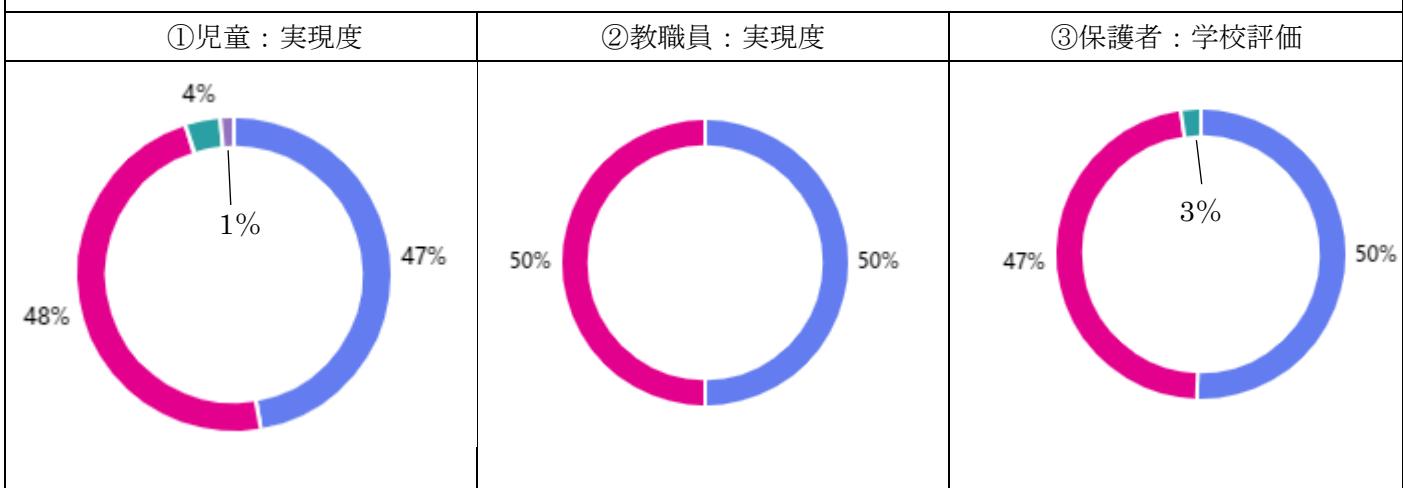
できた
大体できた
あまりできていない
できていない

保護者は

そう思う
大体そう思う
あまりそう思わない
そう思わない

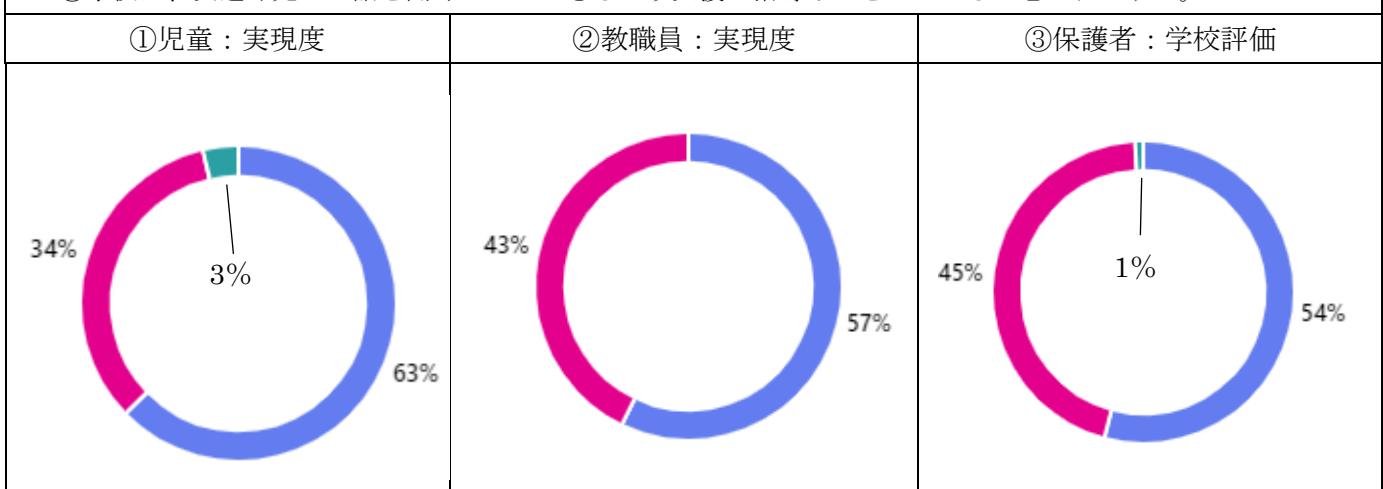
となっています。

- 1 ①知らないことを知ろうとしたり、分からぬことを分かろうとしたりしていますか。
 ②知らないことを知ろうとしたり、分からぬことを分かろうとしたりするよう支援・指導などできましたか。
 ③学校は、新たなことを知ったり分かったりできるよう支援・指導などをしていると思われます。



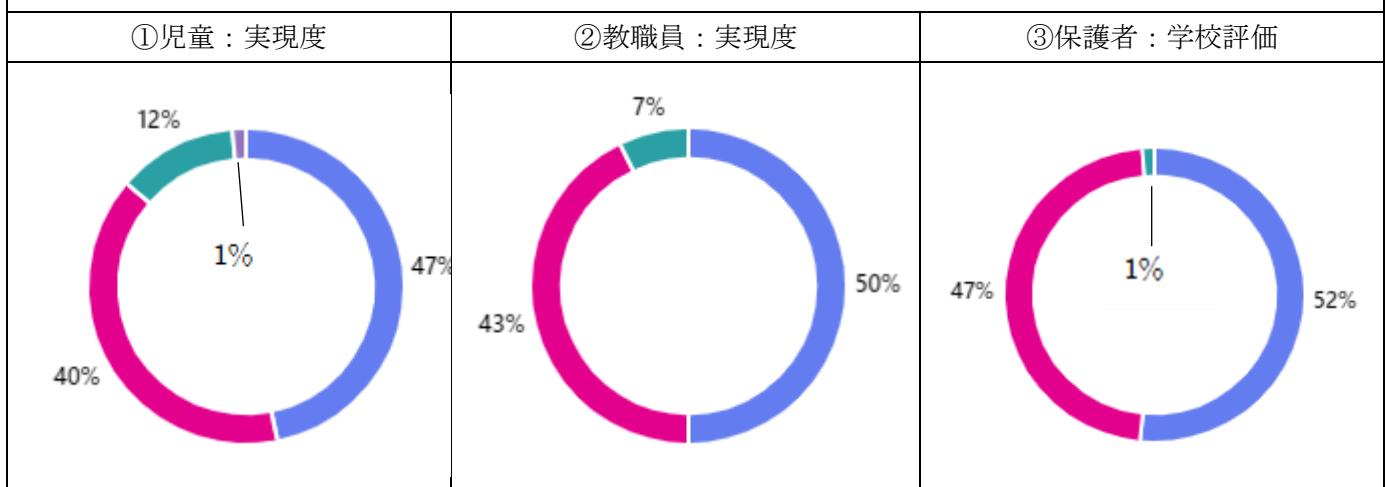
95%の児童が「よくできている」「大体できている」と回答しています。保護者からも97%の方が、「そう思う」「大体そう思う」と回答してくださっています。本年度児童につけたい力の一つとして「知る力・分かる力」を挙げて、確かな学力の定着に取り組んできました。学習活動を通して、まなびの約束やルールを児童が身につけ、意欲的に学ぶ集団づくりに教職員は取り組んできました。今回約3%の保護者からマイナス評価があったことを反省点とし、来年度の支援・指導方法にいかしていきたいと思います。今後も児童が「分かった」「分かりたい」と活動している様子を、週予定や懇談会・ホームページ・学校だより等でお知らせしていきたいと思います。

- 2 ①友達や先生の話を聞くことができていますか。
 ②友達や先生の話を聞くことができるよう支援・指導などできましたか。
 ③学校は、友達や先生の話を聞くことができるよう支援・指導などをしていると思われます。



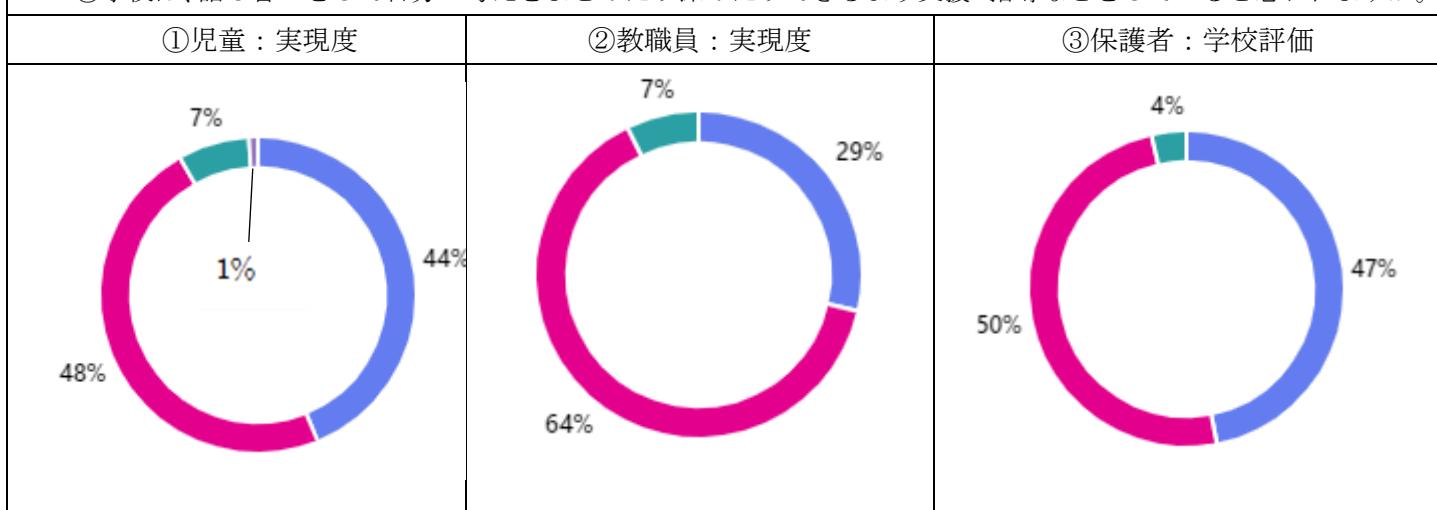
97%の児童が「よくできている」「大体できている」と回答しています。保護者からも99%の方が、「そう思う」「大体そう思う」と回答してくださっています。大変嬉しい結果となりました。学習内容の定着だけでなく、相手を大事にするという考え方からも「話を聞く」という活動は大事だと考え、取り組んできました。「あまりできなかった」と評価している児童が前期に比べ1%減りました。児童が自信を持って「できている」と答えられるように、教職員は今後も支援・指導を工夫していきたいと考えます。

- 3 ①自分の考えや思いを話す（伝える）ことができますか。
 ②自分の考え方や思いを話す（伝える）ことができるよう支援・指導などできましたか。
 ③学校は、自分の考え方や思いを話す（伝える）ことができるよう支援・指導などをしていると思われますか。



87%の児童が「よくできている」「大体できている」と回答しています。保護者からは99%の方が「そう思う」「大体そう思う」と回答がありました。今回もより多くの保護者の方から学校は「自分の考え方や思いを話すことができるよう支援・指導」していると評価して頂きました。児童の主体性・社会性を育てる面からも「自分の考え方や思いを話す・伝える」ことができる力は今後益々必要となってくると予想されます。「あまりできていない」「できていない」という評価をした13%の児童の実態をつかみながら、その子なりに考え方や思いを伝えることができるよう支援・指導を工夫していきたいと思います。また児童自身が「できる」と実感できるように保護者の方と連携し、取り組みを進めていきたいと思います。

- 4 ①話し合いをして自分の考えをまとめたり、深めたりすることができますか。
 ②話し合いをして自分の考えをまとめたり深めたりできるよう支援・指導などできましたか。
 ③学校は、話し合いをして自分の考えをまとめたり深めたりできるよう支援・指導などをしていると思われますか。

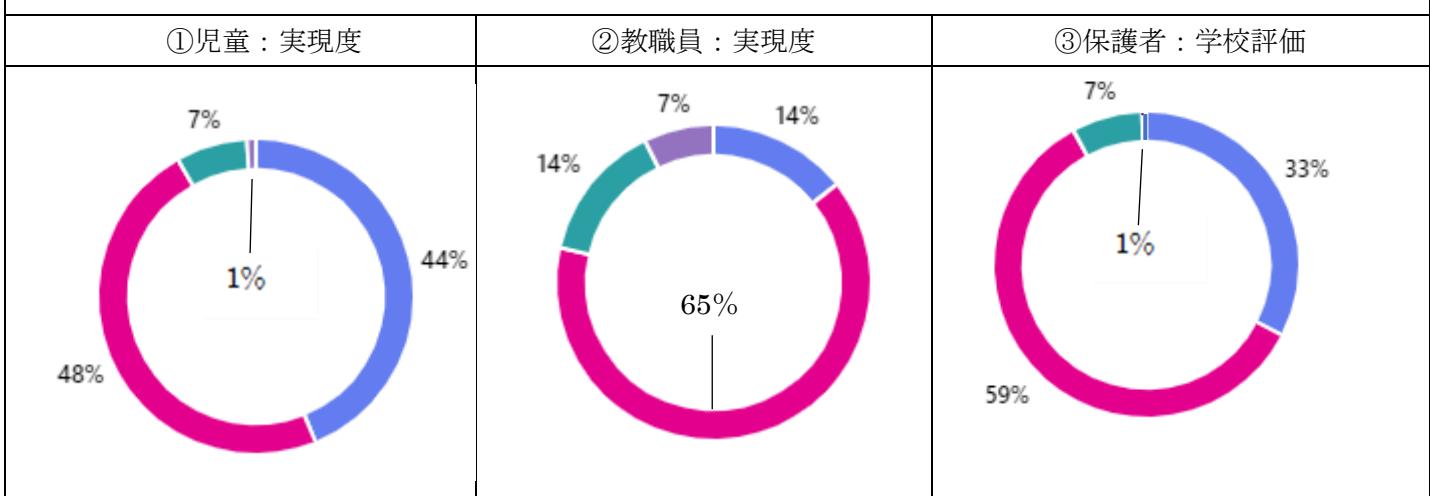


92%の児童が「よくできている」「大体できている」と回答しています。その反面8%の児童が「あまりできていない」「できていない」という評価をしています。保護者からは前期同様に97%の方が「そう思う」「大体そう思う」とよい評価をしていただきました。今年度児童に「つながる」ということを大切にして学校教育をすすめました。授業では児童が友達の考え方を聞いて、自分の考え方と比べたり関連付けたりする機会を意識的に取り入れてきました。学習発表でも参観して頂いたように、児童は様々な場面で、感想を述べたり、友達の考え方を聞いて自分の考え方と比べたりすることを体験してきました。その成果もあり、児童のプラス評価が増えているのだと考えます。

5 ①宿題や家庭での学習を自ら進んですることができますか。

②宿題や家庭での学習を自ら進んでできるように支援・指導などができますか。

③学校は宿題や家庭での学習を自ら進んでできるよう支援・指導などをしていると思われますか。

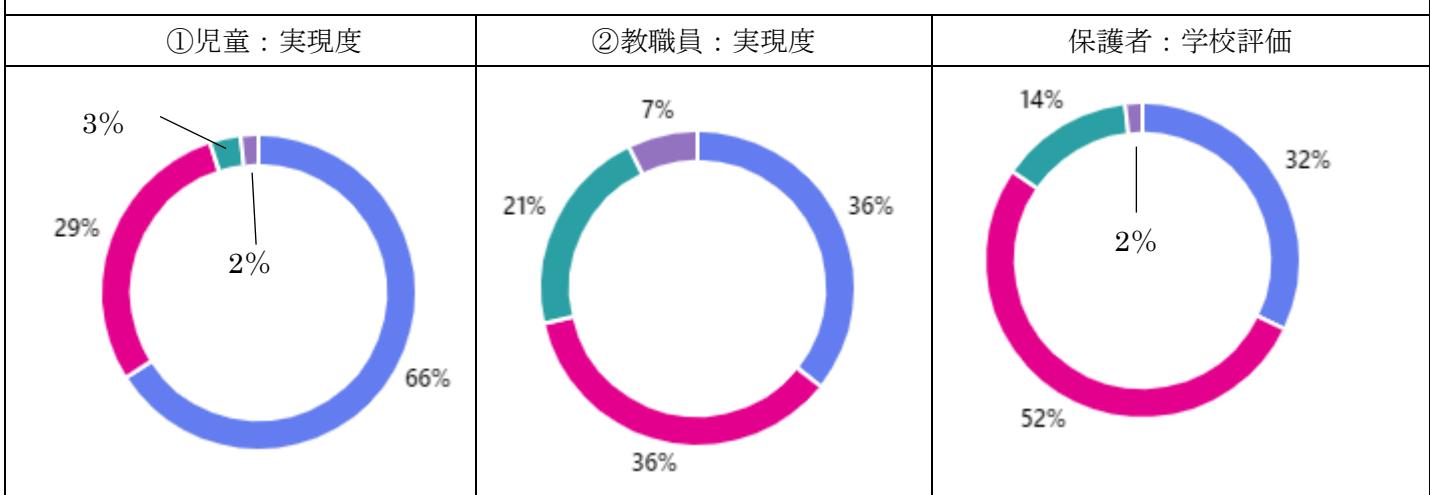


92%の児童が「よくできている」「大体できている」と回答しています。保護者からも92%の方が「そう思う」「大体そう思う」とよい評価をしてくださっています。学校では、学習内容の定着をめざした宿題を出す以外に「自主学習」として、児童が自分の課題や興味のあることについて時間をかけて取り組む姿を目標とした課題を出しています。また、学年によっては、「書く力」や「自分を見つめること」の向上をめざした日記などを出している学年もあります。教職員は発達段階に応じ、基礎・基本の定着から、主体的に学ぶ力につけることができるよう、宿題や家庭での学習を提案しています。今後も家庭と学校が連携しながら、児童の実態に応じた内容を提案し、取組を進めていきたいと思います。ご支援ご協力よろしくお願ひします。

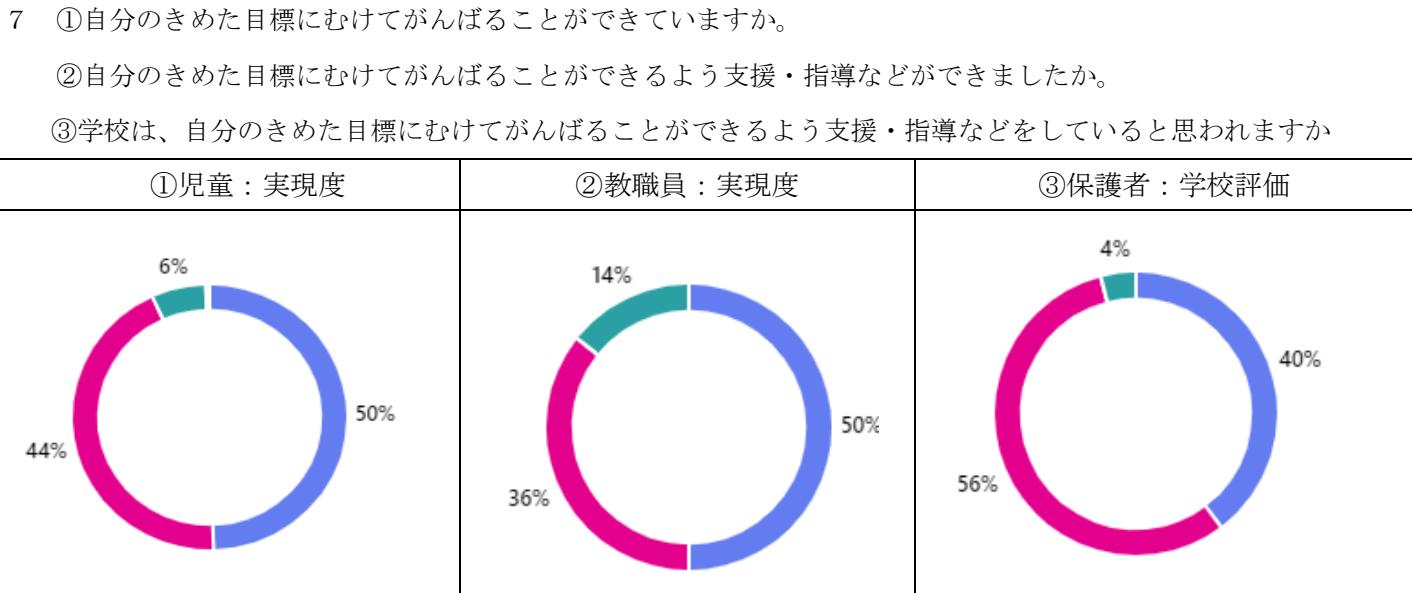
6 ①タブレットを使った学習ができますか。

②タブレットを使った学習ができるよう支援・指導などができますか。

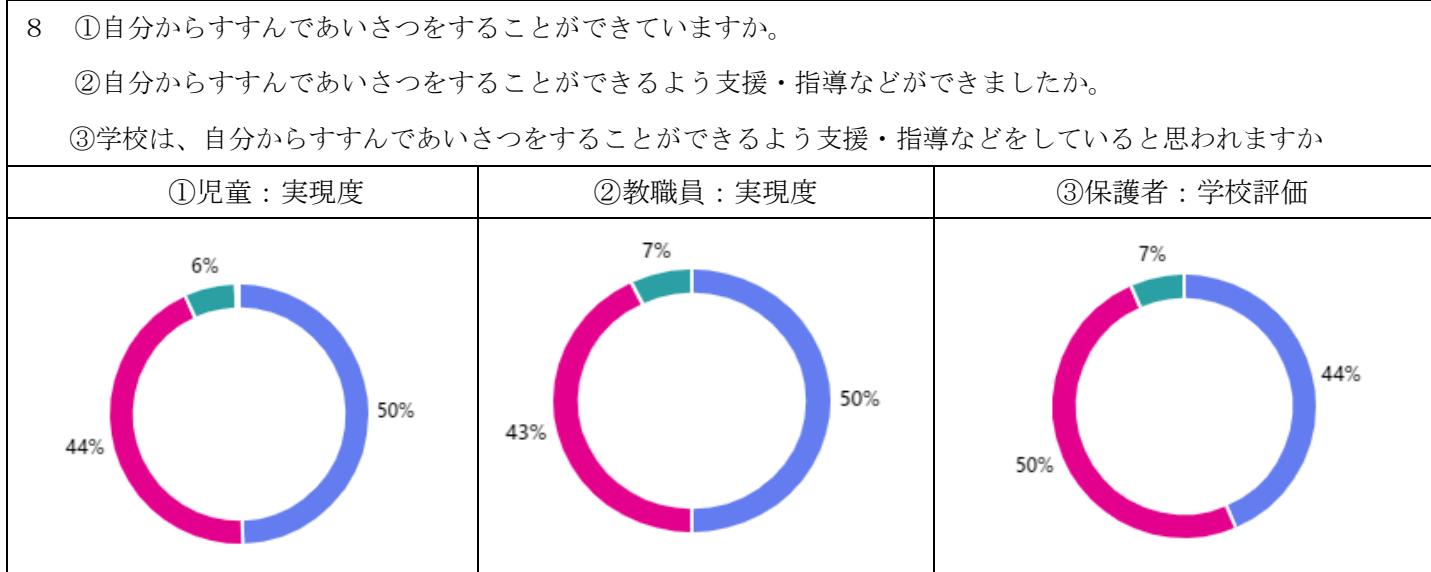
③学校は、タブレットを使った学習ができるよう支援・指導などをしていると思われますか。



95%の児童が「よくできている」「大体できている」と回答しています。保護者からは84%の方が「そう思う」「大体そう思う」とよい評価をいただいています。G I G A端末（タブレット）の活用の一つとして「デジタルドリル」で問題に取り組み、学習内容の定着に役立てています。また「ロイロノート」というアプリを使い、自分の考えを書き込んだり、友達と共有したりするなど、学習のツールとして有効に使う姿があります。来年度中には新しい端末i Padに移行される予定です。発達段階に応じた活用方法を考えると共に、教職員の研修も深めていきたいと思います。

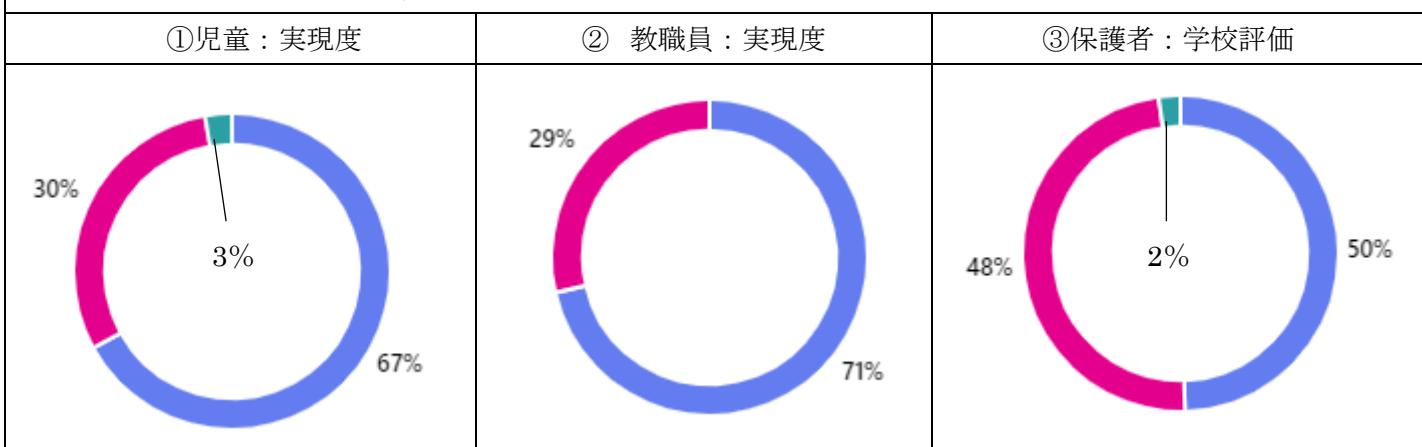


9 4 %の児童が「よくできている」「大体できている」と回答しています。目標をきめてがんばることについては、保護者からは児童を上回る9 6 %「よくできている」「大体できている」と回答を頂きました。学校は様々な機会を通し、児童に達成感や充実感が味わえるように取組をしています。年度初めの参観懇談会では、進級した際のことについて書いたものを見ていただきました。また多くの保護者の方に参観していただいた運動会・学習発表会などでは、学校行事に向かう姿勢や取り組んだ後の振り返りなどを書き、保護者の方からコメントを頂きました。このように「目標に向けてがんばる」ことを意識付けし、「キャリアパスポート」として書きためています。児童にとって周りの大人からの励ましの言葉は何よりだと考えています。今後ともご協力よろしくお願ひいたします。



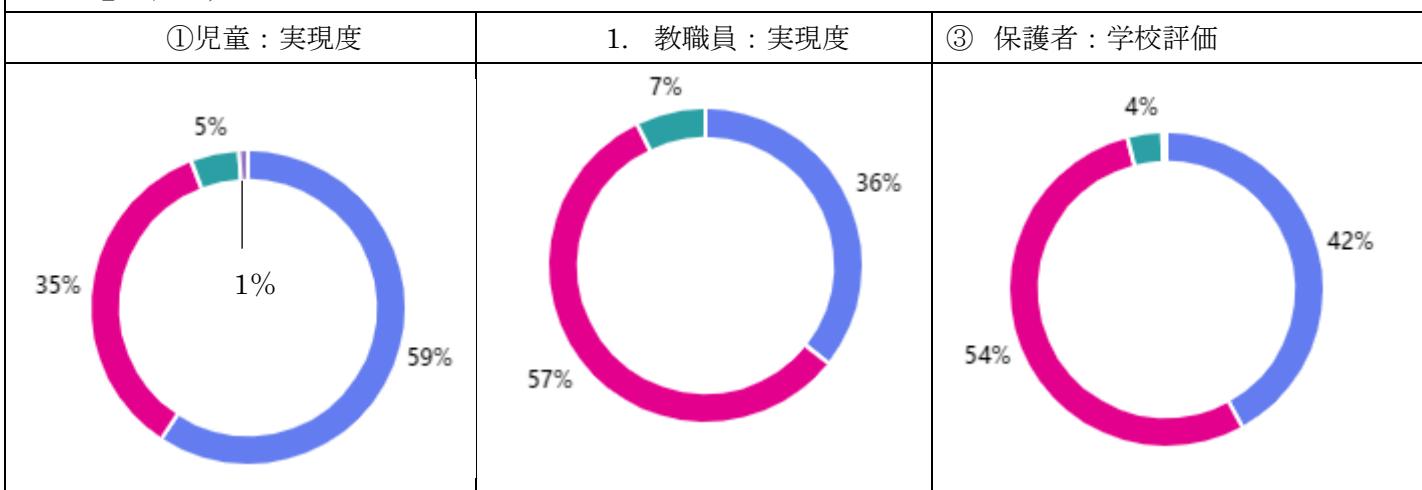
9 4 %の児童が「よくできている」「大体できている」と回答しています。また、保護者も教職員も大体同じような回答結果となりました。ただ、前回「よくできている」と自信を持って答えていた児童の数が少し減りました。児童会からもこのような実態を改善するため取り組みを考え、2月の児童朝会でそれぞれのクラスや学年で「あいさつ」について振り返った内容を、全校で交流しました。今年度、教室を移動したり、給食を取りに行ったりする際、すれ違った人にあいさつをする様子が増えてきています。登下校の際の「あいさつ」だけでなく、学校生活の様々な場面で、または自分達が暮らす地域でも「進んであいさつができる」と自信を持って言えるようにしていきたいと思います。

- 9 ①友達や周りにいる人たちのことを大切にして、仲よく学校生活を送っていますか。
 ②友達や周りにいる人たちのことを大切にして、仲よく学校生活を送ることができるよう支援・指導などができましたか。
 ③学校は、友達や周りにいる人たちのことを大切にして、仲よく学校生活を送ることができるよう支援・指導などをしていると思われますか



9 7 %の児童が「よくできている」「大体できている」と回答しています。前期に引き続き、「よくできている」と回答している児童が多いことは大変うれしい結果となりました。また、保護者からは9 8 %「よくできている」「大体できている」と回答をいただきました。学校教育目標「ともに～つながろう 創り上げよう～」を達成するためには、周りの人との関わりがとても大切です。こうした結果を大変うれしく思います。教職員への何よりの励ましです。ご家庭でも引き続き周りの人を大切にし、仲よく学校生活を送ることを話題にしていただけるようお願いします。また「あまりできていない」と評価した3 %（6人の児童）の児童については、どのような場面で大切にできず、仲よく学校生活が送れなかつたのかを聞き取り、今後の教育活動にいかしていきたいと思います。

- 10 ①「なかよしグループ」では、協力したり助け合ったりして楽しく活動することができますか。
 ②「なかよしグループ」で協力したり助け合ったりして、楽しく活動することができるよう支援・指導などができましたか。
 ③学校は、「なかよしグループ」で協力して、楽しく活動することができるよう支援・指導などをしていると思われますか

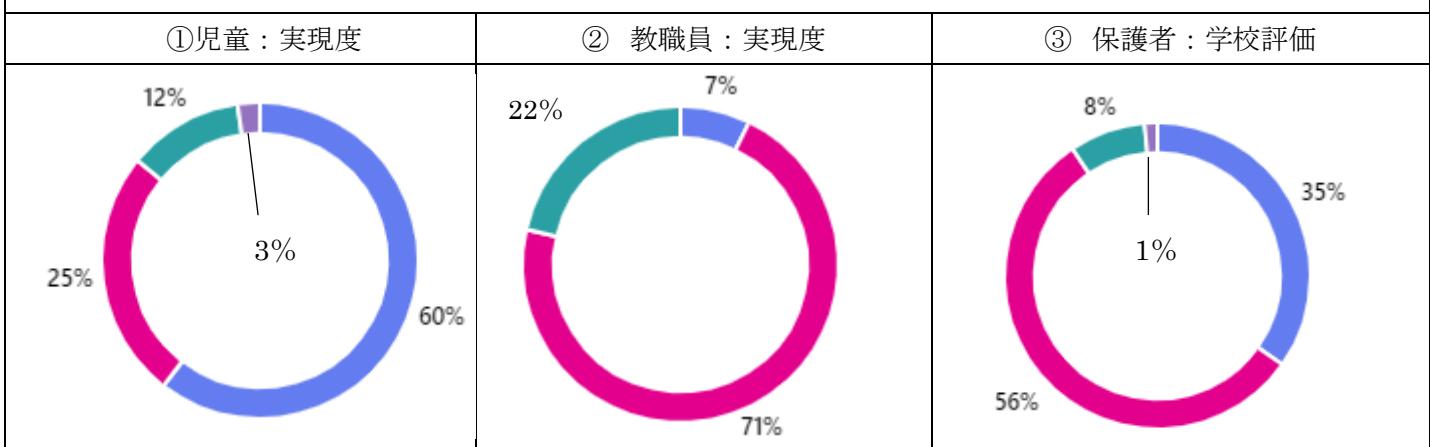


9 4 %の児童が「よくできている」「大体できている」と回答しています。3月にある「6年生を送る会」に向けて、それぞれの学年がお祝いの気持ちを込めた掲示物などを作っています。そんな中、5年生は次期リーダーとしての意識が高まっているのを感じます。回を重ねる毎に顔なじみになり、異年齢児童の繋がりができたように思います。

1 1 ①進んで運動をすることができていますか。

②進んで運動をすることができるよう支援・指導などができましたか。

③学校は、進んで運動をすることができるよう支援・指導などをしていると思われますか。

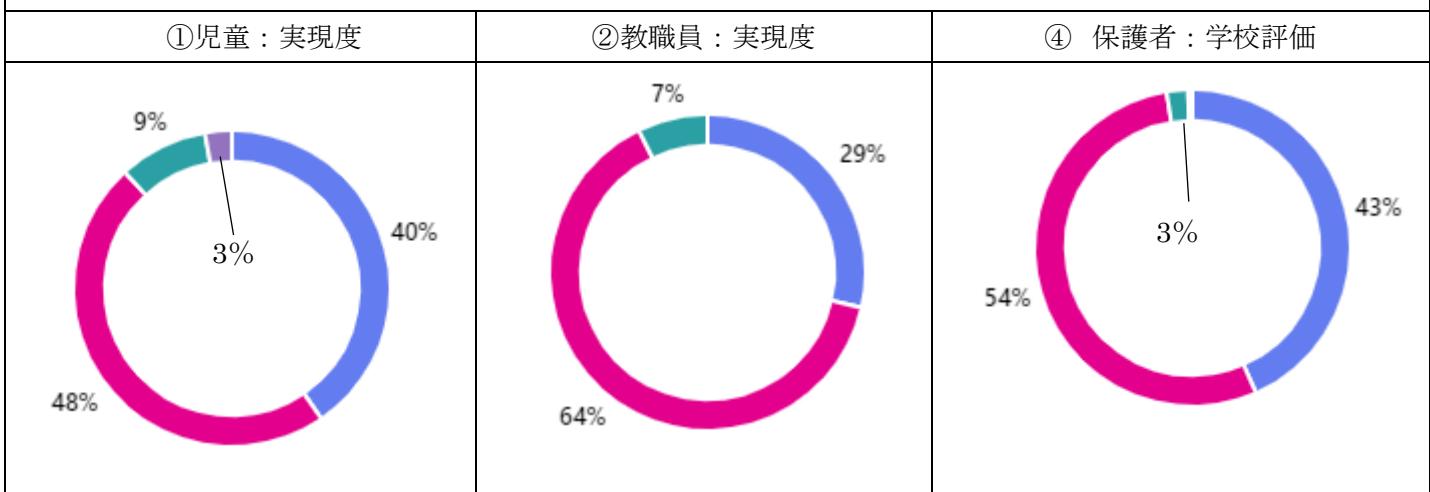


85%の児童が「よくできている」「大体できている」と回答しています。また、保護者から91%のプラス評価がありました。後期は前期のように暑さ指数のために外に出られないことはありませんでしたが、運動場の状態が悪く、外で遊べないことがありました。三学期も児童会健康委員会から「体動かし大会」などの企画があり、体育館にある運動器具を使って、運動をする機会をつくりました。

1 2 ①よい生活習慣を身に付けていますか。

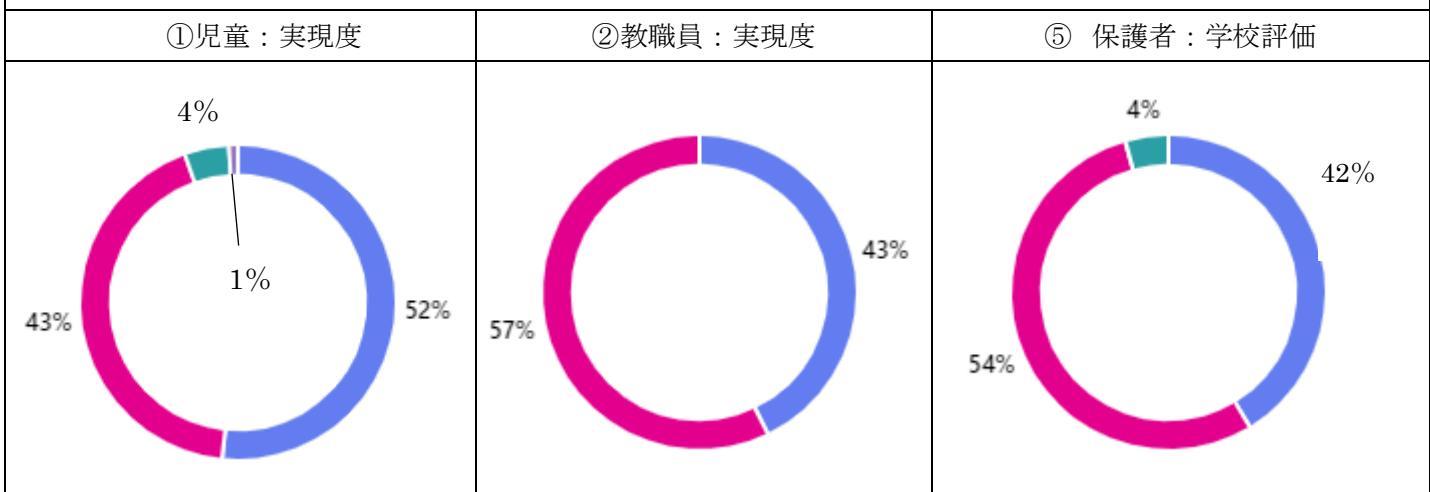
②よい生活習慣を身に付けるよう支援・指導などができましたか。

③学校は、よい生活習慣を身に付けるよう支援・指導などをしていると思われますか。



88%の児童が「よくできている」「大体できている」と回答しています。保護者からは97%が「よくできている」「大体できている」と回答がありました。学校の支援・指導に対し高い評価を頂きました。長期の休み明けに行っている「サンサンさわやかウイーク」の取組では早寝・早起きが前期に引き続き課題です。半面、保護者の方からコメントを頂くことで、児童の励みになっているようです。また、歯磨きについては、年2回「歯っぴ一週間」の取組を行いました。健康委員会の児童が給食の終わるころ歯磨きの音楽を鳴らしたり、養護教諭による歯磨き検定を行ったりしました。前期にもお知らせいたしましたように 紫明小学校は昨年度に引き続き、歯の健康診断の成績が優秀で表彰されました。その他、保健だより「なごみ日和」を発行したり、「保健の日」を設定したりして児童への指導を行っています。特に保健だより「なごみ日和」では「サンサンさわやかウイーク」についての結果や、日々気を付けてほしいことなどを配信してきました。

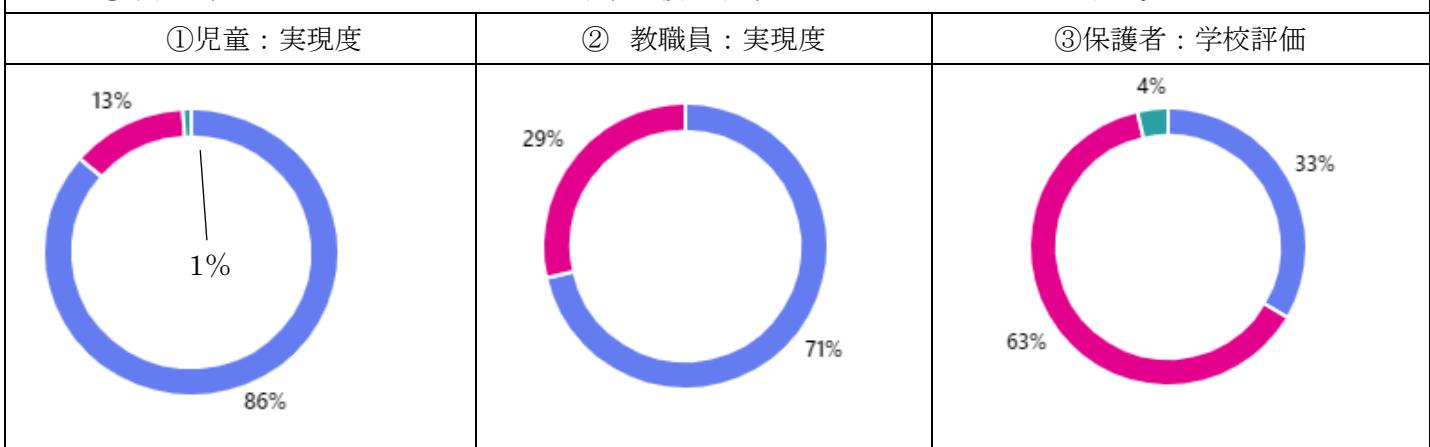
- 1 3 ①自分でよく考えて行動し、よいと思う方を選んで行動できていますか。
 ②児童に自分でよく考えて行動し、よいと思う方を選んで行動できるよう支援・指導などができましたか。
 ③学校は、自分でよく考えて行動し、よいと思う方を選んで行動できるよう支援・指導などをしていると思われますか



95%の児童が「よくできている」「大体できている」と回答しています。その中でも52%の児童が「よくできている」と回答しています。ただ、保護者の回答からは「大体できている」という回答の方が多くなっています。

児童を取り巻く状況は刻々と変化しています。時には予測困難な事象が発生するなど、社会全体で答えのない問い合わせに立ち向かい、対話を通して、納得解を生み出していかなければならない時代にあるとも言われています。自分を守るためにも、周りの人と、ともに生きていくためにもこの力はとても大切です。今後、学校生活での様々な場面で、主体的に向き合い、多様な他者と協働しながら豊かな人生や社会の創り手となれるような経験をたくさんできる機会をつくりたいと考えます。また、保護者の方や地域の方と連携して、正しい判断や行動ができるように支援・指導していくたいと思います。

- 1 4 ①いじめは絶対にしないという気持ちをもって、学校生活を送っていますか。
 ②いじめを絶対させないため支援・指導などをできましたか。
 ③学校は、いじめをしない・させないよう、支援・指導などをしていると思われますか。



99%の児童が「よくできている」「大体できている」と回答しています。保護者からも学校の取組に対して、96%の方が「そう思う」「大体そう思う」とプラス評価をしていただいている。いじめは、いつでもどこでもどの子どもにも起こりうると言う認識の下、私たち教職員は早期発見及び情報共有の徹底を図っています。また、家庭・地域と連携した迅速かつ適切な対応も心がけています。学習時間、休み時間、給食・清掃時間の見守り、いじめアンケートを行うなど様々な形で支援・指導にあたっています。多くの児童が回答している「いじめは絶対にいけない」という気持ちをこれからも大切にし、児童同士が認め合い、よりよい関係を創り上げられるように支援・指導していきたいと思います。今後も家庭と学校が連携して、このような児童の意識を益々高められるようにご協力をお願いします。

自由記述欄に、記述していただいたご意見についてまとめました。

【良い点】

- ・学校で学んだことなど楽しく話してくれます。ゲームや絵描き歌など、授業以外の楽しい時間もよい学びだと感じています。自分の考えがまだ形にならなくても待って頂けていることもあります。異年齢交流はこれからも続けて頂きたいです。テレビの時間が長くなりがちなので、学校からも定期的に指導がありありがたいです。
- ・上級生との交流もあって、別け隔てない雰囲気がとても良い。京都私立の学校から低学年でもいじめ問題を聞くが、いじめのない学校を目指したい。先生も明るく接して頂いて、毎日楽しんで学校に通えている。
- ・いつもありがとうございます。2学期から一部教科担任制が始まりましたが、色々な先生と関わるのは子どもにとって非常に良かったように思います。今後ももっと進めて頂けたらなと思いました。
- ・担任の先生には大変お世話になりました。毎日楽しく、さまざまなことを吸収しながら成長してくれました。ありがとうございました。
- ・授業参観に伺うと、自信を持って発言している子が多く、自分と違う意見も聞こうという姿勢が見られて、個人も他者も大事にする指導をしてくださっていると感じます。また、先生がたくさん褒めてくださるので、子供もやる気が出て字が綺麗になったり、以前よりテスト前も少し頑張ろうという気持ちが見えるようになりました。いつもありがとうございます。
- ・去年の進級時にこちらに転校してきましたが、初めて授業が楽しいと言うようになりました。皆が活発に発表して話し合って意見が言える授業がとても楽しいようです。また係活動が活発なのも楽しいだけじゃなく、責任感を感じたり社会参加してのような感覚を味わえて安心感や自信につながっているようです。苦手な活動やコミュニケーションの克服も自然な形で働きかけてもらっているようで、できなかつことがどんどんできるようになっています。学校生活が充実しているようで親としてもとても嬉しいです。本当にありがとうございます。
- ・2学期の保護者会の際に人権教育の集会の話を伺いました。6年生の子が聴覚障害について自身の経験を話したことで児童に気づきを与え、家でもその時の内容をよく話してくれます。さらに3学期では手話係ができると聞いて、とてもプラスの影響があったのだと感心しました。
- ・人権啓発の参観に関しまして、昨年度まではLGBT教育など多様性推しで政治色の強い内容で疲弊しましたが、今年度から軌道修正されて安心して学校に通わせることができました。ありがとうございます!
- ・校外学習や専門家の授業をたくさん受けられた貴重な一年でした。親としても子どもの成長を面白く感じた一年でした。ありがとうございました。
- ・いつも大変お世話になります。誠にありがとうございます。先生の優しさ溢れるご指導、心から感謝申し上げます。学校生活に不安があった時期でも、先生が居てくださると言う事が、親子で大きな支えとなりました。本当に有難うございました。
- ・子どもが不安定な時はいつも学校の先生方に助けていただき、フォローしていただき、登校できていることに感謝しております。様々な子ども達が抱える困り事、悩み、特性に対しての支援を大人も子どもも皆が理解した上で、毎日安心して登校できる学校作りを願います。
- ・いつも子どもたちを温かく見守っていただき、ありがとうございます。高学年になり、学習内容が難しく悩むこともあるようですが、先生や友達に助けてもらったり教え合うなど、少人数の良い所だと感じます。
- ・どんな悩みも外遊びで発散しているようなので、残り遊びの機会は安心安全に遊べて、ありがとうございます。
- ・息子の気持ちに配慮するだけでなく、成長になるためのサポートをしてくださるので、大変感謝しております。自分で考えて行動する、自分の気持ちを伝えるということが、この一年でずいぶんできるようになったように

感じます。引き続きどうぞよろしくお願ひします。

- いつもお世話になりありがとうございます。学校は疲れると言ってますが、毎朝元気に家を出てきますし、休み時間に外で遊ぶのも楽しいそうです。
- 毎日、楽しく学校生活を送っています。教職員の方々に声をかけてもらうことや、担任の先生などに認めてもらったり、褒めてもらったりすることをとても喜んでいます。いつもありがとうございます。
- いつも子どもたちを温かく見守っていただき、ありがとうございます。毎日、学校で楽しく過ごせているようで、日曜日には、明日学校だー！っと楽しみにしています。学区内に小学生が安全に遊べる公園が少ないので、残り遊びは先生もお忙しい中一緒に遊んでくれたり、安心して遊ばせてあげられ、ありがたい存在です。
- いつも大変お世話になります。誠にありがとうございます。担任の先生が、細かな事でも常に連絡をしてくださり、学校での様子が分かりやすく有難いです。今後共よろしくお願ひ致します。
- 色々な教職員に声をかけてもらうことがとても嬉しいようです。ありがとうございます。毎日、楽しく過ごしています。色々な学年の子どもとも一緒に遊んでいるようありがとうございます。
- 子供は学校が楽しい様子で、毎日安心して通わせてもらっています。日々お世話になりありがとうございます。
- 良い先生方や友達に恵まれて、充実した学校生活を送っているようです。本当にありがたい限りです。
- 漢字もぼちぼち朝勉しており、本人も伸びしろしかないを感じているので一応やりがいはあるようです。おかげさまで友達とも楽しくやっているようで、なによりです。そういえば社会が面白いと言っていました。特に今やっている近現代は、これまで漠然と戦争があった時代と捉えていたのが解像度が上がって楽しいそうです。一方で、水木しげるの戦争マンガや『はだしのゲン』などにみられるような血と飢餓などの悲惨さを具体的に感じさせられるような内容が授業で取り上げられなかったのは意外だったそうです。また、ジョイプロの国語は難しいんだよなと愚痴っていました。
- いつもあたたかく見守って下さりご指導下さり大変感謝しております。ありがとうございます。
- いつも温かく見守ってくれて感謝しかありません。卒業まで先生を見て欲しいと思っています。
- なかよしグループなど高学年がリーダーシップをとる機会は、子供にとって責任感がわく良い機会となっていてありがとうございます。

※良い点として評価をいただき、ありがとうございます。いただいた評価を励みにして引き続き、子どもたちにより良く関わったり、教育活動を充実させたりできるよう進めてまいります。

【要望について】

○学び方、教え方について

- 学校では、知識技能の習得ばかりでなく、教科の見方・考え方を深めるような授業を通して考える楽しさ、追究する楽しさを学んでほしいです。子どもは、先生がいつもやり方を教えて、あとはずっと練習。やり方を考える授業なんてないと言っています。ノートも練習問題ばかりで気になっています。学校で友達としか学べないことを学んでほしいと思っています。子どもがそのような実感をもてないことは残念に思っています。
 - 算数の演習時間に先生が不在で、分からぬ所があるとお友達に教えてもらうと聞きます。自分で考えることも大切ですが、適宜考え方のアドバイスもいただきたいです。
 - 前回の人権参観にて、男女の機会均等がテーマでしたが、授業の流れからすると、一方向に答えが集約されていました。現実はもっと複雑ですし、高学年なので、ディベートをしてあえて反対の意見を出してみるなどして議論を深めるのも面白いと思います。
- 何を学ぶか、どのように学ぶか、学んだことをどう使うのかといった点から授業のあり方や支援の方法なども考えていきたいと思います。

○家庭学習について

- ・宿題について、国語と算数の2教科が必要だと思います。後期も算数の宿題がなく、大切なかけ算も定着していないないように感じます。授業内でドリルを練習したり、放課後に補充したりすることでサポートする考え方も理解できます。しかし、低学年は家庭でも宿題として算数を取り組むことで、算数が苦手な児童も自分のペースで練習や復習したり、保護者ともそれらを共有したりできます。
- ・この1年間の宿題がほぼ日記しか出でていません。算数の宿題はなく、日記のテーマもワンパターンで工夫は見られず、同学年の他クラスや一般的な学年の水準に比べて学習レベルが低いと感じます。
- ・家庭学習で補うのは仕方ないとしても、もう少し指導方法を変えていく必要があると感じています。改善指導いただきたいです。
- ・家庭学習も学級によって差があることが気になります。学年で揃えるところ、学校全体を通して揃えるところを意識していただきたいです。
- ・字も大変雑で汚くなり、直していくのが大変です。昨年度はきめ細やかにご指導いただきましたので、その差に驚いています。
- ・宿題については前学年のときには時間割に記載されていて保護者に分かるようになっていましたが、現学年からは記載がなく、下校後にお友達から宿題内容を確認されることがまれにあるので先生がどの程度フォローされているのか気になります。
→子どもたちが基礎的な学力を身に付けるために、学校での学習と連動して家庭学習を行うことが大切であると考えています。連動した家庭学習になるよう検討していきたいと思います。

○ICTの活用、GIGAスクール構想について

- ・GIGA端末について。IT先進国のスウェーデンではデジタル教科書の使用で学力低下したとして、紙の教科書に回帰する脱デジタル化に大きく舵を切ったとのことです。もちろん既にご存じかと思いますが、下記の記事をご一読いただき今後どのように取り扱うかのご教示をお願いいたします。
<https://ideasforgood.jp/2023/09/27/sweden-schooling/>
- ・タブレット学習は不要。タブレット学習の目指す姿が不明だが、使用するとしても、一人一台は不要。タブレット触れさせるなら、グループで一台とかで良い。低学年の時は荷物の量と体格のバランスが取れていないので、置き勉強可とすべき。自宅学習したい人は持って帰れば良い。
- ・タブレットについては低学年ため使用状況がわかりかねます。また、無理に使用しなくても良いと思っています。
- ・2つ目はタブレットの定期的な持ち帰りがあればいいなと思いました。現学年は1回しか持ち帰りがなく、授業中で活用していることや未来シードなど、我が子がどこまで進んでいるのかなどが分かりません。定期的に持ち帰りがあれば、共有できて励ましの声かけにも繋がると思います。
- ・学習で使うタブレットについて、今年子どもが使っていたものはタッチ操作が効かないようで困っていましたが、取り替えや修理は難しいのでしょうか。すぐには難しくても、年度終わりに不具合は確認してから再配布いただけるとありがたいです。

→現在、京都市より1人1台GIGA端末が貸し出されています。来年度には新しい端末としてipadを順次貸し出すことになります。(次年度中には全学年ipadになる予定)

京都市で策定している「KYOTO×教育DXビジョン」の下で、ICTを活用して、学びの充実を図ろうと取り組んでいます。本校でもこうした方針のもと、ICTを活用をすすめています。まだ取組が十分でないこともありますので、今後も見直しを図りながら取り組んでいきたいと思います。

○子どもたちへ関わりについて

- ・たまに嫌なあだ名か呼び方で呼んでくる子がいて、やめろと言ってもやめないから嫌だといっています。そういうときは「その言い方をしてる間は遊ばない」と伝えるということにしたら?ということになり、たぶん学校ではそうしていると思いますが・・・。
 - ・友達と遊ぶ約束をする際に、待ち合わせ場所や時間などの伝達にすれ違いがあり、「なんでお前は約束と違うことしてんの!!」というのでケンカになることが最近あるようです。親同士がラインで連絡を取ってフォローに入れるときはいいのですが、言葉で相手に伝える力と話を聞いて理解する力が子どもたちはまだまだ発展途上だなと感じます。
 - ・子どもに限ったことではありませんが、言語的および非言語的コミュニケーション力と自他の感情の取り扱い能力を鍛えることの大切さを感じさせられる毎日です。
 - ・支援をしてくださっているけれど、まだ低学年なので出来ていないのか、支援が足りていないのかが分かりません。我が子もですが、お友だちに意地悪な言動をする子は多いように感じています。
 - ・内緒話をしながら自分の事をチラチラ見てくるお友だちがいる等の話を聞くので、娘の心が大丈夫なのか心配にはなります。ただ、先生が常に近くに居る訳ではないので、学校の支援も難しい事は理解しています。
 - ・自分たち親も含めてですが、人間関係、行動全てにおいて過干渉になりすぎず、子供の持っている力を最大限に引き出せるよう、また失敗する事も大切な経験と思って、見守って下されば、と思います。
- 普段からの子どもたちの様子をしっかりと見ていきたいと思います。また、子どもたちが学校で心配なことがあれば、安心して過ごすことができるよう相談したり話したりすることができるような関係を大切にしています。今後も保護者の皆様と連携しながら、子どもたちを育んでいきたいと思います。

○その他の要望について

- ・子どもが学校はエアコンが壊れているから、夏は暑い、冬は寒いと言っています。エアコンの故障、早めに対処をしてほしいです。治らないのであれば、使用していない教室で授業をするなど対策していただきたいです。
 - ・配布物は紙 or すぐーるの選択制でも良いと思う。把握するのが難しいなら、一旦全員に紙を配って、いらぬ人は、回収箱に入れてもらうとか、基本配信するが、紙も欲しい人は、帰る時、各自貰って帰るとか。高学年からなら各自判断できる?
 - ・病欠の際、授業の補習・補填的なことがあまり行なわれていない気がして気になっています。
 - ・長期休暇前の学用品の持ち帰りについてですが、春休み以外は必要な物だけ持ち帰るようにできれば、子供の登下校時の負担が減るのではないかと思います。
 - ・アンケートに名前を書くことに違和感があります。思いを書けないこともある人もいると思います。今後、検討していただけると幸いです。
 - ・校長が趣味のギターを用いて歌ったと聞き正直、愕然としました。歌詞を伝えたいなら音楽を流せばいいのではないかでしょうか?授業の私物化という印象を受けました。選曲に関しても非常に偽善的で、この授業内容がどのような経緯で決まったのか、またそれを止める教職員はいなかつたのか甚だ疑問です。
 - また、学級内の誕生日会でもギターで歌うと聞いています。複数の児童から「うるさかった」や耳を押さえているなど直接聞きました。1学期の早い時点で申し上げるべきでした。経費(税金)が使われている公立学校という観点で、また一般常識的に見て相当おかしいと感じます。どうしても趣味のギターを披露したいのであれば、プラスバンドのように就業時間外の土日にされてはいかがでしょうか。
- 記入していただいた内容について、検討課題としてまいります。ご意見をいただきありがとうございました。今後もご協力をどうぞよろしくお願いいたします。